

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい

記

演 題： 乳腺腫瘍の良悪性の鑑別診断、術前薬物療法の
病理診断について

講 師： 秋山 太先生

(公益財団法人がん研究会 がん研究所病理部)

日 時： 平成 25 年 7 月 9 日 (火) 18 時 30 分～20 時 30 分

場 所： M&D タワー2 階 共用講義室 2

講演要旨：

乳癌診療のここ 20 年間の進歩に伴い病理に求められる診断内容は大きく変化した。超早期乳癌の発見、治療方針決定のための病理診断が求められている。病変の良悪性鑑別診断はいつの時代も大切であるが、特に乳管内病変に関する診断の重要性が増している。治療では乳房温存療法、センチネルリンパ節生検、抗体治療薬、術前薬物療法が大きな変化である。今回は、良悪性鑑別診断のポイントと薬物療法後の組織の診かたについてお話しする。

【連絡先】 包括病理学 北川昌伸 (内線：5 1 7 5)